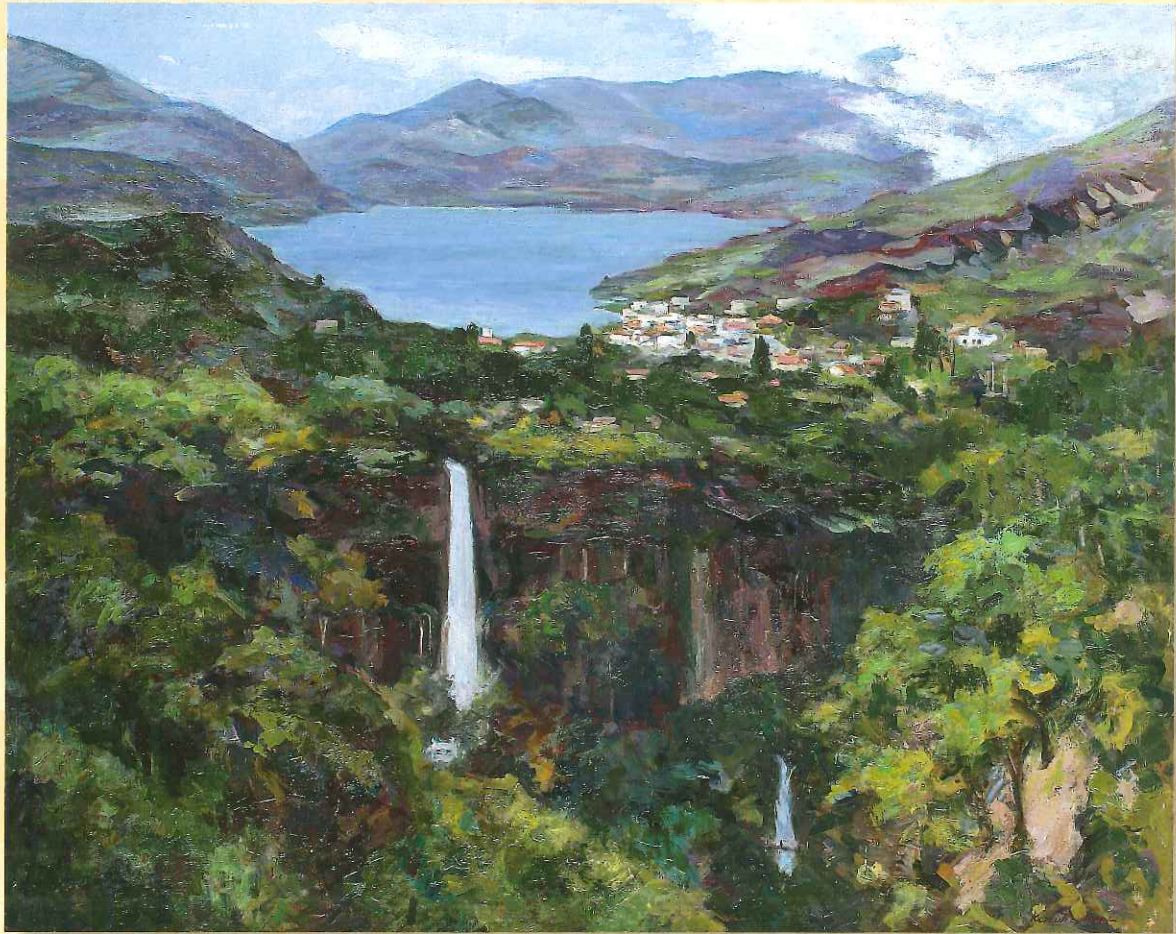




Shinkoh News

—川口新郷工業団地協同組合—



第77回 一水会展(2015) 中禅寺湖俯瞰

永年願っていた、雄大な絶景。日光中禅寺湖をモチーフとして作画しました。
初夏の迫力ある大自然に包まれ、感動と畏敬の念を以てキャンパスに長時間取りくみ続けました。

森 敬介（一水会委員 川口市在住（株）モリチュウ）



2016 JAN. vol.84

発行日 / 平成 28 年 1 月 21 日 発行 / 川口新郷工業団地協同組合 発行責任者 / 石川義明 編集責任者 / 荻山孝夫



川口新郷工業団地協同組合
理事長 石川 義明

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より組合の運営へのご理解、ご協力を賜りますこと並びに川口市産品フェア2015への出展、川口商工会議所の産業振興プロジェクトに参加し新潟県立新潟県立工業高等学校の修学旅行生を受け入れるなどの新たな事業につきましてご理解、ご協力を賜りましたことにつきまして、厚く御礼申し上げます。

川口市、埼玉県中小企業団体中央会を始めとする関係各位に於かれましては、日頃よりご指導、ご鞭撻を頂き誠にありがとうございます。

さて、わが国の経済は内閣府月例報告において「景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いており、先行きについても、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、アメリカの金融政策が正常化に向かうなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、景気が下押しされるリスクがある。」とされていますが、いまだ中小企業には景気の回復を実感できていないところに、中国における景気減速の影響が感じられるようになっております。

このことから、政府に対して、中小企業への経営支援策として、設備投資、技術開発、優秀な人材確保、海外展開などへの支援、税制面での優遇などの施策を今以上に取り組んでいただくよう、機会を捉え要望を行ってまいります。

また、原子力発電所の停止による電力の安定供給の危惧や再生可能エネルギー発電促進賦課金が年々増加することなど、電気に係る諸問題に今年も向き合わざるを得ない状況でありますので、引き続き新電力について検討を重ねるとともに、組合員の電気料の軽減が図れるよう取り組んでまいります。

なお、昨年10月に大筋合意に達したTPP協定、12月の米国公定歩合の引き上げなど我が国の経済活動に大きな影響を与える事がらが生じておりますので、今後における国の政策や市場の動向を注視してまいります。

更に、今年からのマイナンバー制度の導入や、消費税が10%に引き上げられる来年4月から軽減税率の導入が予定されておりますので、組合として研修会の開催などの対応を取り、制度改正に対し遺漏がないように取り組んでまいりたいと存じます。

ところで、今年は恒例となっております「ばんばん祭」が、第10回を迎えることとなります。第1回のばんばん祭の参加者2,000名が昨年の第9回では7,500名を越える大きな祭りとして定着いたしましたのも、偏にご協力をいただき皆様のお陰でございますので、改めて御礼申し上げます。

第10回ばんばん祭は従来にも増して参加者の皆様により楽しく、より喜んでもらえるお祭りとしてべく検討をいたしておりますので、ご期待いただきたく存じます。

これからも、川口新郷工業団地は「日本経済を支える中小企業の組合」としての誇りを持った「住工共生の工業団地」として近隣の皆様と共に歩み続けてまいりますので、関係者の皆様には旧来にも増してご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

結びとなりますが、組合員各位の益々のご繁栄と組合員並びにご家族の皆様のご健勝を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



前総務大臣・衆議院議員
新藤 義孝

新年明けましておめでとうございます。石川義明理事長をはじめ新郷工業団地協同組合の皆さまには、長年にわたり大変お世話になっております。長い間お支えいただいている皆さまから、たくさんのお励みや応援を頂戴しておりますことを重ねてお礼申し上げます。

私は現在、自民党・政調会長代理や経済好循環実現委員会・委員長、また衆議院外務委員会・筆頭理事、地方創生に関する特別委員会理事などを務めさせていただいております。

今日は、デフレ経済から脱却し、経済の好循環が回り始めていますが、その歩みはまだ道半ばです。アベノミクスの推進のために私たちが取り組むべきは、法人税率の早期引き下げなどにより、企業が将来の成長を見据えた投資が出来る環境を作り上げ、さらなる事業展開が図れる政策を打ち出すことです。景気回復の実感を地元川口を始め全国各地に届けるためには、スピード感を持って、実効性のある経済活性化策を展開していくことが重要になります。

安倍政権はアベノミクス第2ステージの目標として、戦後日本が成し得たことのないGDP600兆円の目標を掲げました。大筋合意したTPPにより世界のGDPの約4割を占める環アジア太平洋地域の自由経済圏が生まれます。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックや訪日外国人観光客の飛躍的な増加など、日本に大きな可能性へのチャレンジ機運の高まりと新しい未来が広がる兆しがあります。私たち一人一人が希望を持ち、能力を発揮し、生きがいを持つことが出来る「一億総活躍社会」の実現に向け、全力を傾注してまいり所存でございます。

街の元気を生み出す「地方創生」の大きなうねりが動き出している今、私は「わがまち川口の元気づくり」についても国策と連動した効果的な施策を実行してまいります。その大きな原動力となるのが、新郷工業団地です。様々な製造業が集積し連携をとりながら活発に活動している皆さまを、私も精一杯お手伝いさせていただきます。

本年も川口新郷工業団地協同組合のますますの発展を期待すると共に、各組合員のご隆盛、関係各位のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



川口市長
奥ノ木 信夫

川口新郷工業団地協同組合の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃より市政運営に對しまして格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、子育て・教育関係においては、新市立高等学校の校舎棟建設工事の着工、中学校教室及び市立幼稚園へのエアコン設置や、子育て世代を応援する「赤ちゃんにっこり応援金」の支給を開始させていただいたほか、生活困窮者の把握と支援を行うため事業者と連携協定を締結するなど、幅広い事業を展開させていただきました。

その中でも、市内経済活性化のために「元氣・川口商品券」を発売したほか「川口市産品フェア2015」を実施し、多くの来場者が訪れ成功裡に開催することができました。これも貴協同組合をはじめ、多くの会員企業の皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

私も、開催期間中、毎日会場に足を運び、出展企業の皆様の状況をつぶさに見て回りました。工夫を凝らした展示方法による自社製品等の紹介や事業者プレゼンテーションでは、丁寧に説明する出展企業の皆様の様子など、このフェアが意図した地産地消の機運の醸成を、確かな手ごたえとして感じたところがあります。この実施結果をさらに分析・検証し、次回の開催方法の検討に反映させて参りたいと考えています。

今年、これからの本市の地方創生の道筋を示すべく「(仮称)川口市まち・ひと・しごと創生総合戦略・人口ビジョン」を策定し、市内経済活性化策をはじめとした多様な分野に及ぶさまざまな取り組みを推進し、多くの人から定住先として選ばれる元気なまちを目指し、市政運営に全力を尽くして参ります。

これからも、中小企業の皆様の声を真摯に受け止め、「ものづくりのまち川口」の発展のため、産業の振興と市民生活に密着した施策を積極的に実施して参りますので、何卒、お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、川口新郷工業団地協同組合の益々のご発展と、組合員の皆様のご健勝ご繁栄を心から祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



SIP 川口 2015 この一年



平成27年。戦後70年の節目を迎えた本年。消費税上げによる影響、円安、原油安など川口新郷工業団地協同組合を取り巻く経済環境は依然として厳しく、国の経済対策の効果と景気の回復がなかなか感じられない年ともなりました。

SIP川口は、五月の総会で新役員が決まり、中小企業庁長官との意見交換、高騰する電気料金対策、環境対策等さまざまな課題にこの一年取り組んで参りました。

さらに、住工共生を目的とした恒例の「ばんばん祭」の開催などの他に川口市産品フェアへの参加、「産業観光PRプロジェクト」の一環として県外の高校から修学旅行生を受入れ企業を見学してもらうなど新たな事業にも積極的に取り組んで参りました。

これは昨年の組合事業の記録です。

新春祝賀会 1月22日(木)

平成27年の新たな年を迎え、新春祝賀会を1月22日(木)、新工会館2階大ホールで、新藤義孝前総務大臣・衆議院議員、奥ノ木信夫川口市長、板橋智之川口市議会議員(現埼玉県議会議員)はじめ川口市、川口商工会議所など36団体35名と多くの来賓にご出席いただき開催しました。



第1部は、石川義明理事長の年頭のあいさつで始まり、平成26年度に古希・喜寿を迎えられた組合員並びに元組合員の長寿の祝いを、来賓のご祝辞をいただきました。第2部は、笠松雅美顧問の乾杯で幕を開け、石川理事長と来賓による餅つき、地元歌手の工藤慎太郎・姫野よし子両氏のライブの後、恒例の福引きを行うなど盛況のうちに閉会となりました。

第31回ボウリング大会 2月20日(金)

第31回ボウリング大会は、南平グランドボールにて参加18チーム・72名で実施されました。石川理事長の挨拶・始球式のあと2ゲームの熱戦を繰り上げました。上位成績は次の通りです。



(南平グランドボール 参加18チーム)	
団体賞 (チーム名)	個人賞 (敬称略)
優勝 石金どんとこい	優勝 片野 照光
準優勝 モリチュウ	準優勝 佐藤 勝志
三位 福岡スチール	三位 野地美治男

第46期通常総会 5月29日(金)

第46期通常総会が組合員73名(委任状34名)の出席により開催され、平成26年度事業報告、決算報告、平成27年度事業計画並びに収支予算ほか5議案が満場一致により可決されました。又、第46期が役員改選期に当たることから次の役員が満場一致で選出されました。

- | | |
|------|---|
| 理事長 | 石川 義明 |
| 副理事長 | 矢野 剛 |
| 専務理事 | 久保木満江 |
| 常務理事 | 荻山 孝夫 / 萩原 伸宜 / 山本 有祐 / 富澤 正之 / 森 雄児 |
| 理事 | 石田 哲 / 岩崎 康彦 / 遠藤 良悦 / 上條 潤二 / 小林 孝至 / 高島 進 |
| 監事 | 寺村 俊男 / 福岡 正治 / 森 敬介 / 大西 義一 / 田中 宏明 |



潮干狩り 5月31日(日)



組合の福利厚生事業の一環として潮干狩りを実施しました。新工会館前より大型バスで江川海岸に向かい、潮干狩りを行った後、保田の「ばんや」にて昼食をとりました。

潮干狩り会場は広く、参加者それぞれ貝が取れそうところを探しながら歩き回り、昼食も新鮮な魚介類を食べました。

第9回ばんばん祭 8月23日(日)

平成27年8月23日(日)当組合主催、江戸袋町会・東本郷南町会・都住舎人自治会の三町会並びに川口市観光物産協会、川口法人会第4支部、川口園芸販売、三井生命保険共催の第9回「ばんばん祭」を実施しました。

今年も宮城県南三陸町歌津地区の皆様が参加、千葉県銚子市からの出店、物産の販売を行いました。

「ばんばん祭」は住工共生の理念の下、近隣融和のお祭りとして定着し、今年は7500人の来場者と年々盛況となり、大きな成果を上げました。



AED応急手当講習会 3月4日(水)



川口市消防局職員を講師として、90分のAED救命入門コースを実施しました。

応急手当の重要性と救命に必要な応急手当について受講者を5班に分け、心肺蘇生法とAED使用方法について学びました。(受講者23名)

ゆうゆう会 3月15日(日)



古くからの街並みを今に保ち、江戸情緒を残す東京下町を訪れました。

歴史のあるくず餅店、佃煮店もあり、もんじゃ焼店が軒を連ねる月島もんじゃストリートなど人気、人情の街を散策いたしました。

また、親子丼発祥の店、人形町の「玉ひで」にて昼食をとりました。

中小企業支援担当者等研修 8月27日(木)



全国中小企業団体中央会の依頼により、石川理事長が中小企業大学校東京校で、全国から集まった各都道府県の中小企業団体中央会の48名の受講生に講演を行いました。

石川理事長は「川口新郷工業団地協同組合の現状」のタイトルで現在の組合における問題点などを講演し、中小企業団体中央会が行う支援の大切さを話しました。

更に鑄物の歴史から現在の鑄造事業所の現状の話をを行いました。

集団健康診断 インフルエンザ集団予防接種 9月9日(水) 10月30日(金)



組合員並びにその従業員の健康増進を図るため、戸田中央総合健康管理センターによる定期健康診断や胃腸診断等を新工会館にて実施しました。

簡易健診46名、定期健診120名、有機溶剤18名、塵肺健診20名、胃健診32名の受診がありました。

新工会館にて戸田中央総合健康管理センターによるインフルエンザ共同予防接種を実施しました。

組合員並びにその従業員合わせて232名が接種しました。

中小企業庁長官視察 9月15日(火)

富永厚志中小企業庁長官が「設備投資の伸びない現状について・設備投資の促進を図れるようにするにはどのような方法があるか」について視察をされ、石川理事長を始めとする当組合役員と予定時間を越える懇談を行いました。



秋季合同清掃 10月6日(火)



組合員が各ブロックに分かれ、工業団地内の道路や公園の清掃を実施しました。
道端に落ちていたごみなどを拾い、雑草や蔓等を取り除きました。
集めたごみは、川口市役所の協力により回収していただきました。

第67回中小企業団体全国大会 11月20日(金)



第67回中小企業団体全国大会が「團結は力、見せよう組合の底力！」をスローガンに沖縄コンベンションセンターで開催され、矢野副理事長をはじめとする役員等が出席しました。大会では「景気対策・被災地を含めた地域の活性化」「生産性の向上」「持続的成長の促進」を国等に要望する決議が採択されました。

海外販路拡大現地視察 11月20日(金) ~ 11月24日(火)



川口市では市内事業者の販路拡大の一環として、平成28年度アジアにおいて行われる見本市への出展を検討しており、これに伴ないバンコクで行われたMETALEX見本市視察及びベトナム政府関係者との会談を含め、奥ノ木市長を団長とする視察団に石川理事長、矢野副理事長が参加しました。

組合視察研修旅行 10月18日(日) ~ 10月19日(月)



国史跡・産業遺産の佐渡金山と世界遺産暫定リストに入っている佐渡奉行所を視察しました。
佐渡金山には、休山まで使用されていた機械が展示されている整備工場があり、鋳物で作られたものも多く、その仕組み等を学ぶことができました。
佐渡奉行所は、佐渡金山の開山により、急激に増えた人々を管理する目的で作られ、現在の建物は復元されたものですが、当時の奉行所の構造が良く分かるものでした。

川口市産品フェア2015 10月23日(金) ~ 10月25日(日)



川口市産品の魅力を発信するため、「知ろう・使おう・広げよう」をテーマとした地場産品展示会がSKIIPシテイで開催され、川口新郷工業団地協同組合も出展しました。当組合のブースでは組合員事業所とばんばん祭を紹介し、3日間で延べ660名の来場者がありました。なお、組合員企業は石川金属機工(株)・(株) 明光社・(株) 共和歯車製作所・(株) モリチュウ・中原建設(株)・神陽金属工業(株)の6社が出展しました。

川口市産業観光PRプロジェクト 12月3日(木)

川口市の産業の魅力を全国にPRするため、川口商工会議所が当組合石川理事長を委員長とする産業観光PRプロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトの一環として新潟県立新潟県立工業高等学校機械科の生徒17名が4班に分かれ、石川金属機工(株)・(株) 明光社・(株) 大西機工(株) 北辰機械製作所・川口板金(株)・(株) 川口鍛工所・(有) 岩宗製造所・神陽金属工業(株)・アサヒコンストラクト(株)・鈴木鍍金工業(株)の10社を見学しました。



合同ブロック会議 11月12日(木)



埼玉県中小企業団体中央会の「組合等集中支援事業」を活用し、社会保険労務士を講師とし、組合員及び実務担当者を対象とした「マイナンバー制度導入に伴う企業の実務対応」についての研修を行いました。これにより、マイナンバー制度の趣旨・内容、取り扱い方や企業における安全管理対策の大切さが確認できました。

沖縄県庁との懇談会 11月19日(木)



沖縄県での中小企業団体中央会全国大会開催への参加に伴い、石川理事長以下10名が、沖縄県庁産業振興課並びに中城新港地区協議会と意見交換会を行いました。
沖縄県は島で構成されているということもあって、電気料金が高いことが、産業の発展を阻害している状況になっているとのこと。昨年当組合を訪れた際に組合主力事業の共同受電に強く興味を示し、今回の意見交換会となりました。
電気料金の低減は沖縄県だけではなく、すべての産業界の問題である等、意見交換は活発に行われました。

中国・大連視察(外国人技能実習生面接会) 12月12日(土) ~ 12月14日(月)

平成28年度来日実習生を選考するため、石川理事長をはじめ、受入れ企業代表者ら4人が12月12日から3日間の日程で中国大連市を訪ねました。面接会に来た20代、30代の応募者30名一人ひとりに日本での技能実習に対する心構えを確認しながら慎重に適性者を選考、溶接実技テストも行われました。実習生に決まった13名が健康診断を受けたあと約3ヶ月現地日本語を学び、2016年4月下旬から溶接・鋳造・旋盤・鍛造などそれぞれの企業で実習する予定です。



新郷小学校社会科見学 12月15日(火)・12月17日(木)



川口市立新郷小学校3年生の160名が社会科見学のため川口新郷工業団地協同組合を訪れました。石川金属機工(株)では、船舶部品の材料となる銅などを溶かし砂型に入れる作業を見学、新工会館では鋳造の作業工程を説明する映像を観た後、川口新郷工業団地についての説明を行いました。

おめでとーございます

☆長寿のお祝い

米寿

◇ 有限会社川口プレナー加工所



瀧澤 茂様

喜寿

◇ 粉末機械工業株式会社



中山 要三様

◇ 株式会社大西鋳工所

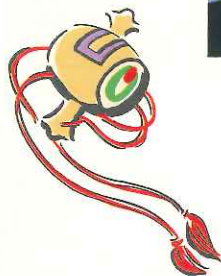


大西 利頼様

◇ アサヒ建材株式会社



細野 秀雄様



青年研究会会長 年頭のごあいさつ



青年研究会会長
山口 基永

新年明けましておめでとーございます。

皆様方におかれましては、お元気で新年を迎えられたことと存じます。また、青年研究会の活動に對しまして、組合員の皆様をはじめ多くの方々の格別なるご高配を賜っており、ありがとうございます。青研会員一同を代表いたしまして、心より厚く御礼申し上げます。

さて、私たち中小企業を取り巻く経済状況は依然として厳しい情勢を呈し、予想をはるかに超えるあまりにも早い時代の流れに足を掬われかねず、急激な変化に對する力をより一層求められる厳しい時代、このように時こそ地に足を付け、青研メンバーがともに力を合わせ今出来る課題一つ一つに真剣に取り組むことが大切であると思っております。まずは今期残る青研の活動、二事業を研鑽の場と決め積極的に取り組み、完遂してまいります。

本年、青年研究会は引き続き新電源導入等、電力安価安定供給のための調査・研究のお手伝いを柱に、10周年を迎えるばんばん祭にも青研メンバーあげて取り組み、組合各企業、また地域近隣の方々と共に新郷工業団地、新郷地区のさらなる発展のために、微力ではありますが、精一杯頑張る所存です。

また、組合諸行事や他団体交流に積極的に参加するとともに、青研各種事業を通じて会員一人一人の資質の向上と相互の親睦をさらに図ってまいりたいと存じますので、本年もご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。結びに皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

森敬介理事 第10回川口市文化賞受賞

森理事の文化芸術活動における優れた実績と、振興への貢献活動が評価され、10月18日(日)第10回川口市文化賞を受賞されました。



川口市文化賞は、長年にわたり市民文化の振興に貢献した方に贈られる最高の賞です。

平成27年度 川口市文化三賞表彰式

文化賞・芸術奨励賞・芸術功労賞・青少年文化活動奨励賞



SIP川口 今後の予定

- 2月14日 ゆうゆう会
- 3月4日 第32回ボウリング大会
- 9日 AED応急手当講習会
- 5月 第47期通常総会

事務局人事

◇ 退職 事務局長 星野 暁人



3年間の短い期間でございましたが、ものづくり工業団地の温かい交流など、貴重な経験をさせていただきました。末筆ながら、組合員皆様のご健勝と各企業の益々のご発展をお祈り申し上げます。

◇ 入職

写真右より

- 事務局長 弓場賢一郎
- 総務課長 岩澤 幸雄
- 総務課 田中 琴恵

